

日文翻譯試題

(限用答案本作答)

出典はすべて参考のために掲げたものであるので、訳さないこと

一・次の文章を中国語に訳せ。(60%)

A (30%)

人類学においては、これまでフィールドにおける調査を通しての「資料蒐集」と「理論構築」とを別々の場に分けて行うことが当然とされてきた。そこでは研究の主体と被研究の客体とが截然と分けられるものであるとされ、それがゆえに研究の客観性が保持されるべきものと考えられ、行われてきた。フィールドにおける人類学者の営為は、それほど客観的なものであるはずはないのであるが、科学研究は客観的であるべきであり、観察者＝調査者が「状況外」的立場を執ることがそれを可能にし、また、と同時に学者の立場をも正当化するという学問論理があった。(点は原文ママ・青木保・『文化の翻訳』・137頁・1978・東京大学出版会)

B (30%)

言語学そのものもまた、他のすべての学問と同じように社会的活動、社会現象であるから、さまざまな文化的、政治的、とりわけ言語的背景からきりはなして論ずるわけには行かない。また言語学には、その固有の領域を設定しようという、危機感のまじった伝統がある。そこに、私が言語学イデオロギーと呼んでいる独特の情熱が色合いを添えている。このイデオロギーを私は憎悪すると同時に、また一方では大切に考えて行きたい。少なくとも、わからず屋に勝手なことを言わせたくないと思っているのである。本書で私が描き出したいと思ったのは、そうした近代言語学イデオロギーというようなものであり、それに寄せる私の愛憎の思いである。(点は原文ママ・田中克彦・『言語学とは何か』・218頁・1993・岩波書店)

二・次の文章を日本語に訳せ。(40%)

A (20%)

面對不同聲音的非難，價值取向與市場競爭法則是許多人會偏好日本流行產品的主要原因。對他們而言，日本是一個與美國近似的先進國家，偏愛日本商品並不是因為「日本」這個國族，而是在市場挑選商品的當然選擇。不論是 1960、70 年代對美國的憧憬，還是 1990 年代對日本的崇拜，都是源自於對現代化的仰望情緒。(李天鐸、何慧雯・「我以前一定是個日本人？—日本流行文化的消費與認同實踐—」《日本流行文化在台灣與亞洲》・25 頁・2002・遠流：台北)

B (20%)

就漫畫而言，雖然同樣是漫畫讀者，有些人可能在漫畫消費的各種行為上更積極或投入，有些人則只是當作休閒的媒介之一，與其他的休閒媒介沒有多大的區隔。前者的表徵行為就是漫畫迷的顯現，而後者只能視為是一般的漫畫讀者。但是也有些讀者雖然看漫畫的經歷與投入時間不長，卻也會在心理上自我認定是「漫畫迷」。(蕭湘文・《漫畫研究：傳播觀點的檢視》・114 頁・五南：台北)

試題完